

教育研究業績概要

氏 名 八 重 徹 司 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
臨床薬学、医療薬学、腎排泄型薬剤の適正使用		日本腎臓病薬物療法学会、日本臨床栄養協会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本薬学会		
担当授業科目名				
臨床薬学入門、実践処方解析学、事前実習、病院実務実習、薬局実務実習、薬局経営学、薬学特別演 I、薬学特別演習 II、薬学総合演習、卒業研究				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等	1998年1月～	講義では、できる限り臨床現場の臨場感を伝えるよう工夫している。例えば、新薬や医療行政に関する最新の情報と薬学の関連をわかりやすく解説している。また、医療事故報道があった場合などでは、講義内容とからめて、事故を未然に回避するためのポイントなどを解説し、大学での座学が臨床に直結することを伝えている。		
2 作成した教科書、教材、指導書等	2009年	骨粗鬆症の薬物療法ほかを担当		
病気と薬パーフェクト BOOK2009(南山堂)	2009年	小児の服薬指導の問題点を担当		
プロブレムリスト活用による小児の服薬指導 第4版(医歯薬出版)	2010年	関節リウマチ治療薬の図解薬理作用を担当		
病気と薬パーフェクト BOOK2010(南山堂)	2010年	薬物速度論に関する情報を活用し、薬物血中濃度の予測法、腎機能の予測法、個人差の予測法などについて論じた。		
薬剤師の強化書 薬局 TDM・『疑義照会』『副作用の予見・回避』に活用できる-(南山堂)	2011年	骨粗鬆症治療薬の図解薬理作用を担当		
病気と薬パーフェクト BOOK2011(南山堂)	2012年	骨粗鬆症治療薬の図解薬理作用を担当		
病気と薬パーフェクト BOOK2012(南山堂)	2013年	骨粗鬆症・骨代謝改善薬の適正使用、生活改善薬の適正使用を担当		
腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト	2013年	お薬相談室と保険薬局を担当		
医薬品情報学改訂第2版(南山堂)	2015年	プレガバリンによる中枢神経症状を担当		
腎臓病薬物療法トレーニングブック	2015年	TDMと処方設計を担当		
コンパス 調剤学	ほか 多数			
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等	2003年～2004年	人吉看護専門学校(講師)		
職務上の実績(学術団体や社会等における活動)に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等	1986年	第229993号		
薬剤師国家試験免許	2001年～2021年	第01-0060号		
日本医療薬学会・認定薬剤師	2001年～2021年	第01-0036号		
日本医療薬学会・指導薬剤師	2003年～	02-126		
日本臨床栄養協会認定 NR・サプリメントアドバイザー	2005年	福岡大学第1077号		
博士(薬学)	2014年～	第131-010号		
日本腎臓病薬物療法学会・腎臓病薬物療法専門薬剤師				
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等	1988年～2008年	副会長		
人吉球磨薬剤師会	1997年～2004年	理事		
熊本県病院薬剤師会	2012年～	評議員、理事		
日本腎臓病薬物療法学会	2013年～	代議員		
日本医療薬学会	2016年～	地域職域部会長		
三重県薬剤師会				
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等

<p>(著書)</p> <p>1 病気と薬パーフェクトBOOK 2008</p> <p>2 医薬品情報学改訂第2版</p> <p>3 病気と薬パーフェクトBOOK 2009</p> <p>4 プロブレムリスト活用による小児の服薬指導 第4版</p> <p>5 病気と薬パーフェクトBOOK 2010</p> <p>6 薬剤師の強化書 薬局 TDM - 『疑義照会』『副作用の予見・回避』に活用できる-</p> <p>7 Clinical Pharmacist</p> <p>8 病気と薬パーフェクトBOOK 2011</p> <p>9 病気と薬パーフェクトBOOK 2012</p> <p>10 スタートアップ服薬指導</p> <p>11 腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト</p> <p>12 コンパス調剤学改訂第2版</p> <p>13 腎臓病薬物療法トレーニングブック</p> <p>・ほか 多数</p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p>	<p>2008年</p> <p>2009年</p> <p>2009年</p> <p>2010年</p> <p>2010年</p> <p>2010年</p> <p>2011年</p> <p>2011年</p> <p>2012年</p> <p>2012年</p> <p>2013年</p> <p>2015年</p> <p>2015年</p>	<p>南山堂</p> <p>南山堂</p> <p>南山堂</p> <p>医歯薬出版</p> <p>南山堂</p> <p>南山堂</p> <p>メディカ出版</p> <p>南山堂</p> <p>南山堂</p> <p>講談社</p> <p>じほう</p> <p>南江堂</p> <p>じほう</p>	<p>P1016-1019 八重徹司</p> <p>P201-207 八重徹司、相良英憲</p> <p>P969-973、P1626-1631 八重徹司、相良英憲</p> <p>P3-8 八重徹司</p> <p>P50-55, P1100-1104 八重徹司、相良英憲</p> <p>P42-46 八重徹司、相良英憲、田中守</p> <p>P50-55、P1170-1173 八重徹司、相良英憲、田中守</p> <p>P54-61、P940-944 八重徹司、田中守</p> <p>P36-55 八重徹司</p> <p>P96-98. 林雅彦、八重徹司</p> <p>P203-215. 林雅彦、八重徹司</p> <p>P98-109. 林雅彦、八重徹司</p>
<p>(報告書等)</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>				
<p>学術論文 学会発表等の題名</p>	<p>発表者名</p>	<p>発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等</p>		
<p>(学術論文)</p> <p>1 Nicotinic acetylcholine alpha4beta2 receptor regulates the motivational effect of intracranial self stimulation behavior in the runway method</p> <p>2 保険薬剤師の職業性ストレス</p> <p>3 経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤の自己貼付に対する患者意識と手段的日常生活動作との関係 - バーセル指数 60 点以上の高齢患者において -</p> <p>4 透析患者へのリドカインテープ貼付における保湿剤前処置の影響</p> <p>5 モンテカルロ・シミュレーションを用いたバレニクリン酒石酸塩の腎機能及び体重に応じた投与量の検討</p> <p>6 Tenofovir disoproxil fumarate による体表面積未補正 eGFR 低下の危険因子に関する検討</p> <p>ほか 19 編</p>	<p>Sagara H, Kitamura Y, Yae T, Shibata K, Suemaru K, Sendo T, Araki H, Gomita Y.</p> <p>加藤忠彦、八重徹司、神村英利</p> <p>林雅彦、高井靖、八重徹司、大井一弥</p> <p>高井靖、木村匡男、松尾浩司、の村信介、八重徹司、大井一弥</p> <p>林雅彦、八重徹司、柴田和彦、三輪高市、森尚義、大井一弥、平田純生</p> <p>森尚義、林雅彦、大井一弥、八重徹司、谷口晴記</p>	<p>J Pharmacol Sci. P455-61 (2008)</p> <p>日本薬剤師会雑誌 P457-458 (2012)</p> <p>Jpn. J. Pham. Health Care Sci. P463-470 (2015)</p> <p>Jpn. J. Pham. Health Care Sci. P855-860 (2015)</p> <p>日腎薬誌 P3-8 (2015)</p> <p>日腎薬誌 P17-23 (2016)</p>		
<p>(学会発表等)</p> <p>1 透析患者の合併症に対する薬剤の使用 透析患者における血漿中薬物濃度の推測 TDM 対象外の薬剤も推測してみよう</p> <p>2 医学部医学科ならびに看護学科の学生と薬学部実務実習生によるチーム医療学習の試み</p>	<p>八重徹司、宮村重幸、丸山徹、平田純生</p> <p>武市佳己、末丸克矢、八重徹司、荒木博陽ほか</p>	<p>日本透析医学会 (2010)</p> <p>日本薬学会年会 (2011)</p>		

3 薬学生を対象とした喫煙行動に関する意識調査 キャンパス敷地内分煙校の場合	柴田和彦, 八重徹司ほか	社会薬学 (2012)
4 TDMがつなぐ保険薬局業務の新たな展開 日常業務に活かす薬物血中濃度の予測 添付文書記載データを活用する	八重徹司	日本薬剤師会学術大会 (2013)
5 モンテカルロ・シミュレーションを用いたバレニクリン酒石酸塩の体重・腎機能別処方設計に関する検討	飯嶋吉貴, 林雅彦, 八重徹司ほか	日本腎臓病薬物療法学会 (2013)
6 今から始める腎臓病薬物療法シリーズ よくわかる高血圧の薬物療法	八重徹司	日本腎臓病薬物療法学会 (2014)
7 Tenofovir による腎機能障害の危険因子に関する検討	森尚義, 林雅彦, 八重徹司, 谷口晴記	日本腎臓病薬物療法学会 (2014)
8 ドラッグストアの顧客を対象とした一般用尿試験紙配布による CKD 早期発見と啓発の試み	井上健, 岡崎照夫, 八重徹司ほか	日本腎臓病薬物療法学会 (2014)
9 Tenofovir による腎機能障害の危険因子に関する検討	森尚義, 林雅彦, 八重徹司, 谷口晴記	日本エイズ学会 (2014)
10 バンコマイシン初回投与設計時における理想体重、血清クレアチニン及びアルブミン濃度を用いた腎機能推定式の評価 Cockcroft & Gault 式との比較	林雅彦, 岩本卓也, 八重徹司, 大井一弥, 奥田真弘ほか	TDM 研究 (2015)
11 腎臓機能評価に基づく健康拠点薬局推進事業	大野真之, 小林竜也, 山口哲夫, 西井政彦, 八重徹司	日本薬剤師会学術大会 (2015)
12 腎機能を考慮したメトホルミン塩酸塩の適正使用に関する研究 モンテカルロ・シミュレーションによる検討	八重徹司, 林雅彦, 大井一弥	日本糖尿病情報学会 (2016)
13 Dolutegravir の投与開始前後の推算糸球体濾過量の推移	中道翔子, 森尚義, 林雅彦, 八重徹司ほか	日本腎臓病薬物療法学会 (2016)
14 シナリオ・シミュレーション教育の導入—多人数を対象とした双方向型授業を目指して—	八重徹司, 神保泰志, 谷村学ほか	日本薬剤師会学術大会 (2019)
15 薬剤師在宅医療推進事業における研修会のありかたについて	瀧千尋, 八重徹司, 神保泰志, 谷村学ほか	日本薬剤師会学術大会 (2019)
16 三重県薬剤師会における薬剤師在宅医療推進事業—シミュレーション・ラボの設置と活用—	八重徹司, 神保泰志, 谷村学ほか	東海薬剤師学術大会 (2019)
17 三重県薬剤師会における薬剤師在宅医療推進事業—シミュレーション・ラボにおける個別対応型研修について—	瀧千尋, 八重徹司, 神保泰志, 谷村学ほか	東海薬剤師学術大会 (2019)
18 三重県薬剤師会における薬剤師在宅医療推進事業—アドバンス研修について—	藤井亮佑, 八重徹司, 神保泰志, 谷村学ほか	東海薬剤師学術大会 (2019)
19 2020 年度実務実習 大学・病院・薬局間連携の現状報告 デジタル(オンライン)とフィジカル(対面)の融合を目指して (指定演題)	八重徹司, 林雅彦ほか	医療薬学フォーラム (2121)
ほか 多数		

(その他)		
-------	--	--